

ほほえみだより 第23号(春号)

平成23年3月発行

発行元：八色園デイサービスセンター (777-5816)

デイサービスセンター理念
～お手伝いします！
あなたの生活・夢・安心～

年が明けてから、大雪や地震などの自然災害に見舞われましたが、ほほえみ利用者の皆さんはお変わりなく、元気にデイサービスへ来られています。

年度末ということで、この1年の取り組みをまとめました。今年度の成果や課題を改めて見つめ直し、来年度へ向けて活かしていきたいと思います。



浦佐菊祭りに行ってきました！

< この1年間の取り組み >

認知症型通所介護『ほほえみ』では、皆さんが安心して落ち着いて過ごせるような環境作りを第一に、少しでも認知症の周辺症状が和らぎ、進行を遅らせることができるような関わりを目指してきました。

日々の入浴、食事、排泄など基本的な生活から、調理、軽作業、手工芸、畑仕事、レクリエーション、散歩などの活動まで、ご利用者様ひとり一人に合わせた内容を検討し、勧めていく中で目に見える成果もありました。



ちまき作りの様子



ボランティアの皆さんとの交流



昼食の準備の様子



畑での野菜作り

今年度は初めての試みとして『家族会』を開催しました。八色園では2か月に1度、認知症型通所介護運営推進会議というものを実施しています。地域に密着したデイサービスということで、地域の方々に日頃行なっていることなどを報告する機会なのですが、その中でご利用者様のご家族から、是非『家族会』を開催し、皆さんがどのように対応しているのか聞いてみたいという意見があり、昨年11月20日に開催することができました。アドバイザーとして大和包括支援センターの山口さんを迎え、大勢のご家族の皆さんから参加していただきました。日頃の悩みや思っていることを話すいい機会になったのではないのでしょうか。とても充実した時間でした。今後も定期的に関係していきたく考えています。

ほほえみだけでなく、八色園としても認知症ケアについての必要性を感じており、職員は認知症についての研修に参加し勉強しているところです。認知症の症状や適切なケアの方法は一人ひとり違い難しいですが、基本的なことはその方を知ることと、チームでケアをすることだと感じています。チームケアというのはほほえみの職員間だけでなく、ご家族の方やケアマネージャー、そして地域の方にも協力して頂くことで、その方を知り、安心して過ごせる環境を作ることだと思っています。職員から皆さんに色々とお聞きするかもしれませんが、その際にはご協力をお願い致します。来年度も皆さんの笑顔がたくさん見られますように！！



散歩にも出かけました

§ § § § § § § §

・・・あしあと・・・(平成22年12月～平成23年3月)

- 12月：開設記念大演芸大会
- 1月：大相撲八色園場所開催
- 2月：節分豆まき大会
- 3月：ひなまつりカラオケ大会、多門青年団来園

ほほえみデイサービス

- ・関篤子(デイサービス相談員)・山口智子(ほほえみ介護リーダー)
- ・佐野ゆき子(介護職員)・青木晶子(同)・金井明美(同)・小林日出子(同)



おやつ作りに挑戦！